

◇2018年度実施の国内修学旅行の実態とまとめ(高等学校)＜抜粋＞◇

この調査は2018(平成30)年度に実施された高等学校の修学旅行に関するものである。
 全国の国立、公立、私立4,897校から3,048校を抽出してアンケート調査を依頼した。回答は1,146校(回答率37.6%、前回35.4%)からいただいた。

設置者名	国立	公立	私立等	合計
全国校数	15	3,559	1,323	4,897
抽出校数	15	1,807	1,226	3,048
回答校数	4	734	408	1,146
回答率%	26.7	40.6	33.3	37.6

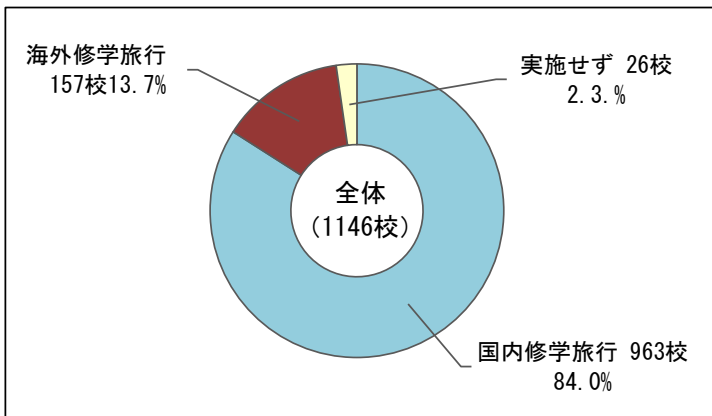
※回答率は、抽出校に対する回答校数の割合

調査項目は次の通りである。

(1)実施状況 (2)不参加生徒の有無・理由 (3)実施時期 (4)実施学年 (5)保健指導のための引率者(6)旅行日数 (7)旅行費用 (8)主な交通手段 (9)旅行内容「重点をおいた活動、旅行先、宿泊地・利用宿泊施設、見学先等」(10)班別自主行動 (11)体験学習 (12)防災((避難)訓練の取り組み(13)アレルギー対策 (14)事前・事後学習の取り組み

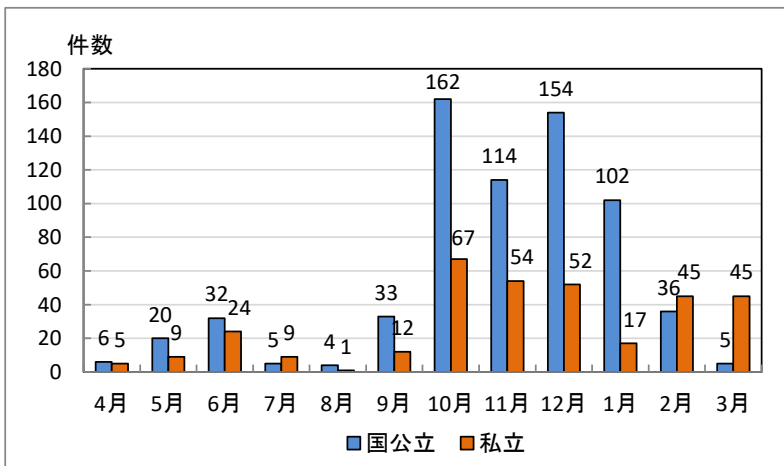
ここではその一部を抜粋して紹介する。
 なお詳細については「教育旅行年報データブック2019」をご覧ください。

1 修学旅行の実施状況



国内・海外を合わせた修学旅行実施率は97.7%であり、前回(2016年度実施)の96.7%から比べると1.0ポイント増加している。
 国内と海外の構成比で見ると、前回は国内が85.1%であったが今回は84.0%と1.1ポイント減、海外が11.6%から13.7%と2.1ポイント増となっている。

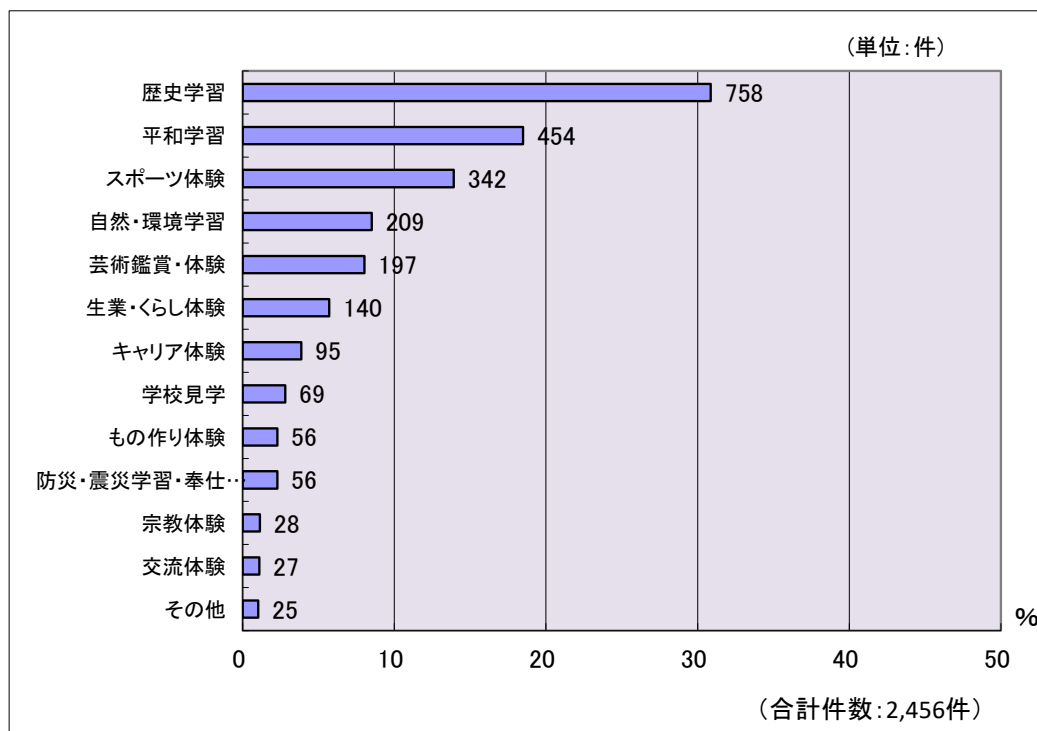
2 国内修学旅行実施時期



国内修学旅行の実施時期は、10月～12月に実施する学校が全体の59.5%を占めている。国公立校では10月～12月に集中しているが、私学校は10月～12月、2月、3月と分散している。この傾向は前回とあまり変わらない。

3 旅行内容

重点を置いた活動の分類別件数・比



修学旅行で重点を置いた学習や体験を分類した分類別件数比率を見ると、「歴史学習」が758件（30.9%）で最も多く、次いで「平和学習」が454件（18.5%）、「スポーツ体験」が342件（13.9%）で、この3分類内容で全体の63.3%を占めている。その他様々な体験に重点を置いて実施していることが分かる。

また、重点を置いた学習や体験の具体的な活動内容を調査した結果、1位「遺跡・史跡・文化財・寺社等の見学」2位「平和学習」が3年間変わらず、「伝統的町並みや建造物群保存地区の見学」「スキー・スノーボード」「自然・野外活動体験」「マリンスポーツ」が毎回上位にきている。その他活動内容は多岐にわたっており、各学校が実態に応じて様々な重点を置いた活動を実施していることがうかがわれる。

かつて重点をおいた活動であった「博物館等の見学」や「美術館等の見学」（2010年度はともに2位）が、ここ数年で大きく順位が下がっており、それに対して「いなか暮らし体験」「職場訪問・職場体験」「学校見学（大学・専門学校等）」「伝統文化・伝統芸能や祭り体験」などが上位に上がってきている。

4 都道府県別旅行先上位20

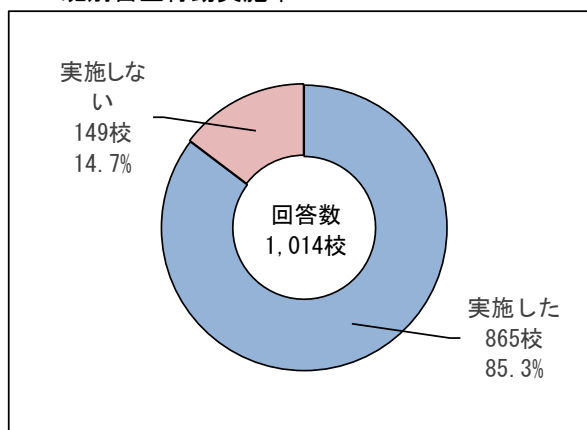
順位	旅行先	件数	構成比%
1 (1)	沖縄	315	14.5
2 (2)	東京	245	11.3
3 (3)	京都	218	10.1
4 (4)	大阪	216	10.0
5 (5)	千葉	185	8.5
6 (6)	奈良	146	6.7
7 (7)	北海道	123	5.7
8 (8)	兵庫	93	4.3
9 (10)	広島	86	4.0
10 (9)	長崎	81	3.7
11 (12)	神奈川	72	3.3
11 (11)	福岡	72	3.3
13 (13)	長野	51	2.4
14 (15)	新潟	36	1.7
15 (14)	佐賀	26	1.2
16 (16)	熊本	24	1.1
17 (18)	鹿児島	19	0.9
18 (21)	群馬	16	0.7
19 (17)	滋賀	14	0.6
19 (19)	山口	14	0.6

()順位は前回の順位
※総件数は2,167件

カウント方法は、滞在時間に関係なく、例えば滞在が半日であっても、2日であっても、初日と3日目であっても、行った旅行先を「1」としている。

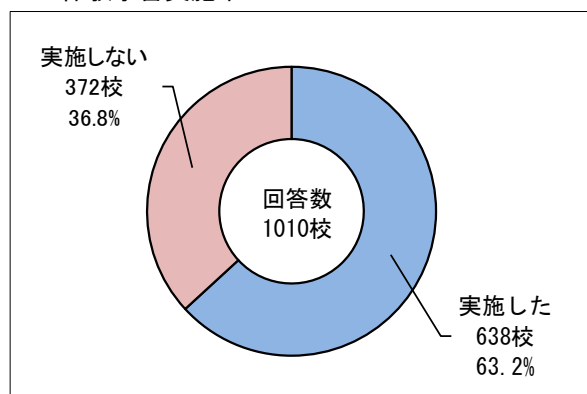
都道府県別旅行先上位20を見ると、トップは前回に引き続き沖縄県で、2位東京都、3位京都府、そして大阪府、千葉県の順である。8位までの順位は3年間変わりが無い。沖縄県は平和学習やマリンスポーツ体験など、東京都は首都の観光・学習、京都府、奈良県は寺社などの歴史学習、大阪府、千葉県は人気のテーマパーク、北海道は自然体験の豊富な素材等が大きな要因であろうか。

5 班別自主行動実施率



班別自主行動の実施率は全体で85.3%と非常に高く、前回（86.2%）、前々回（86.7%）からみても、班別自主行動が修学旅行における一般的な行動形態として定着してきているといえる。設置者別では国公立校が86.9%（前回86.5%、前々回85.9%）、私立校は82.1%（前回85.9%、前々回88.2%）で、ともに高い実施率である。

6 体験学習実施率



体験学習を実施した学校は全体で63.2%、前回の66.4%、前々回の65.8%であり、国公立校、私立校ともに修学旅行における重要な活動となっている。内容は「スポーツ体験」（38.7%）が最も多く、次いで「農山漁村体験」「ウィンタースポーツ体験」「ものづくり体験」である。昨今、受け入れ側が積極的に体験学習プログラムを設定しており、内容も豊富になってきている。